

## モンクロシャチホコ

夏に集団でサクラ、ナシ、シラカンバなどの葉を食べる毛虫（幼虫）。最大長約50mm。小さなときは茶色で、毛は疎ら。大きくなると黒くなり、白っぽい毛束が列状に生える。

庭や公園のサクラ、ナシ、シラカンバなどでしばしば多発する。



1. 若い幼虫，体長20mm。1998/8/19.

美唄市，クロミサンザシ。



2. 老齡幼虫の集団，体長40mm。1999/8/10.

北檜山町，エゾヤマザクラ。



3. 終齡幼虫，1962/8/14.

美唄市，ベルコーザカンバ。

【学名】 *Phalera flavescens*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , シャチホコガ科 (Notodontidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；アムール，朝鮮半島，中国，台湾。

【生態】

幼虫は7～8月に集団で葉を食害する。8～9月に地上に降りて、落葉中や土中の浅いところで蛹になり、越冬する。

蛹は6～7月に蛾（成虫）になる。雌成虫は葉裏に数十個の卵をまとめて産む。

【被害と防除】

庭や公園のサクラ，ナシ，シラカンバなどでしばしば多発する。食害により枝が枯れることがある。

同じ場所で発生する傾向がある。以前に被害が発生した場所の木を7月下旬～8月上旬に見回り，小さな幼虫集団を取り除く。農薬による駆除が必要と判断される場合はモンクロシャチホコ用の農薬を使用する。農薬としては，樹木用のDEP乳剤，サクラ用のアセフェート剤，エトフェンプロクス剤，ピリダフェンチオン乳剤，BT剤，DDVPくん蒸剤などがある。農薬は取扱説明書に従って使用し，散布の際には通行人や近くの住民らに十分配慮すること。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

モンクロシャチホコ shachiho/monkuro/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/22.

yochu2.jpg, yochu3.jpg

「写真1～2」 原秀穂，北海道立林業試験場，1999.

yochu.jpg

「写真3」 上条一昭，北海道立林業試験場，1962.